

カサンジャーガマの米戦法

山内 カナ (1900・M33) 字座喜味 (00 : 35)

んかし いくさゆー
昔、戦世に、カサンジャーんち在んよー、かー
あま あ うんま がま がま
ま彼処んかい、在しが。其処あ洞窟やさ。洞窟やしが、
んかし いくさ うんま かく むる
昔ぬ戦あ其処んかい隠ていめーたんでい、全員。

かく
隠ていめーたぐとう、戦ぬ寄し掛きてい来くとう、
くみ くみ なが いくさしぬ
米るやしが、米る流らすしが。なー戦凌じゆるゆ
ーしんに米いっけーらち、うぬ、其処から流らちしち
やぐとう。また、うぬ敵え其処んかい来ぐとう、う
てき うんま ちよー
ぬ敵のー、「うっさなー水ぬ其処あ、水ぬはいるむん
てき みじ うんま みじ
やー、其処ねー人お竦でー居らんさ」んち、戻てい
うんま ちゆ すく をう むる
行いたんでいぬ話。

【共通語訳】

昔、戦争があった頃の話だがね。カサンジャーガマというのが、座喜味の外れの方にあるよ。そこは洞窟なんだけど、戦争の時は全員そこに隠れていたんだって。

皆で隠れていたら、戦が押し寄せてきたので、米を流したらしい。もう敵の攻撃を凌ぐために、そこから米を流したわけだね。そしたら、近くまで来た敵は米を水だと勘違いして、「こんなにも大量の水が流れているのだから、そこには人は潜んではいけない」と、引き揚げて行ったという話。